

通常上映 フィリピン映画100年記念

フィリピン映画特集

フィリピン映画100年を記念し、フィリピン映画の名作を上映



通常上映

在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館10周年記念

ベトナム映画特集

ベトナム総領事館選出によるベトナム映画の名作を上映



通常上映

フィリピン映画100年記念

フィリピン映画特集

フィリピン映画100年を記念し、フィリピン映画の名作を上映

会期: 12月11日(水)~12月24日(火) ※休館日・休映日除く
観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

11(水) 14:00 / 14(土) 11:00

神のいない三年間 *Three Years Without God*

1942年。ロサリオの恋人クリスピンは抗日ゲリラになるため村を去る。ある日道に迷った日本兵マズギがロサリオの家にやって来る。接待をされ酔ったマズギはロサリオをレイプする。ところがマズギはロサリオを真剣に愛するようになるのだった。42年から45年までの日本占領時代を描いた作品。日本軍人とフィリピン女性の和解と愛を描くという貴重な映画。フィリピンの大スター、ノラ・オノール主演で、70年代を代表するフィリピン映画の1本。



監督: マリオ・オハラ
出演: ノラ・オノール
クリストファー・デ・レオン
1976年/35ミリ/カラー/124分
フィリピン/日本語字幕付き

13(金) 11:00 / 15(日) 11:00

母と子 *Child*

香港で家政婦として働いたジョシーは6年ぶりにマニラに帰ってきた。二女のダダイは母親の事を忘れ、長男のマイケルは成績が落ちて奨学金をもらえなくなっていた。長女のカーラはドラッグに手を出し毎晩遊び歩いていた。フィリピン独特の問題に焦点をあて大ヒットを記録、日本でも劇場公開(日本題は「母と娘」)された作品。名女優ヴィルマ・サントスが主演し、カーラと感情をぶつけ合う対決はすさまじい。



監督: ロリー・B・キントス
出演: ヴィルマ・サントス
ジョエル・トーレ
2000年/35ミリ/カラー/120分
フィリピン/日本語・英語字幕付き

在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館10周年記念

通常
上映

ベトナム映画特集

ベトナム総領事館選出によるベトナム映画の名作を上映

4(水) 14:00 / 7(土) 11:00

無人の野 *Wild Field*

ベトナム戦争中のメコン・デルタ。バー・ドーとサウ・ソアの夫婦は解放軍の連絡員で、乳飲み子のザーと一緒に湿地帯の中で暮らしていた。時折米軍のヘリが上空を飛ぶが、二人は見つからないように隠れていた。子どもを育てながら、戦闘も行う夫婦が、緊迫感を持って描かれる。モスクワ映画祭で金賞を受賞し、ベトナム映画史上初めて国際的な映画祭で最高の賞を受けた作品となった。



監督: グエン・ホン・セン
出演: グエン・トゥイ・アン
ラム・トイ
1979年/35ミリ/モノクロ/94分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

11(水) 11:00 / 13(金) 14:00

廃墟からの旅立ち *The Ruins*

朝鮮戦争の復員兵ヴィクトールは、怪我のため仕事のままならず厭世観にとらわれていた。そんな彼をクラブで働くティタが励ます。フィデル神父は彫り物職人だったヴィクトールにマリア像などの修理を依頼、ヴィクトールは次第に元気を取り戻していく。40年代から50年代を代表するアヴェリャーナ監督の代表作。イタリアのネオリアリズムを思わせる作品で、新しいフィリピン映画の可能性を示した。



監督: ランベルト・アベリャーナ
出演: トニー・サントス
ローサ・ロサル
1956年/16ミリ/モノクロ/119分
フィリピン/日本語字幕付き

12(木) 11:00 / 14(土) 14:00

少女ルーベ *I Carry the World on My Shoulders*

少女ルーベはスラムに住み、ゴミ拾いをして暮らしていた。ルーベは歌が上手く、ある日歌のコンテストに出場し見事優勝、審査員の目にとまり、ナイトクラブで歌手として働くことになる。主役のルーベを演じるのは現在も歌手として大活躍するシャロン・クネータ。メロドラマでありスター誕生物語でもある。社会派の巨匠として知られるリノ・ブロッカだが、娯楽映画の監督としても一流であることが分かる。



監督: リノ・ブロッカ
出演: シャロン・クネータ
ロレッタ・マルケス
1987年/35ミリ/カラー/127分
フィリピン/日本語字幕付き

15(日) 14:00 / 20(金) 11:00

マグニフィコ *Magnifico*

マグニフィコは9歳の少年。両親は彼のろまで頭の悪い子だと考えていた。しかし彼は脳性麻痺の妹の世話をしており、祖母が死んでも葬式代が工面できないという親の愚痴をきくと、一人で祖母の棺桶を作り始めるのだった。キリスト教的世界観に根ざした作品だが、みんなからのろまだと思われていた主人公が起こす様々な奇跡は、隣人を慈しむことのすばらしさ、希望を捨てずに努力することの感動を呼び覚めます。



監督: マーリオ・J・デ・ロス・レイエス
出演: ジロー・マニオ
アルバート・マルティネス
2003年/35ミリ/カラー/123分
フィリピン/日本語・英語字幕付き

会期: 12月4日(水)~12月8日(日)

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

共催: 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

4(水) 11:00 / 6(金) 11:00

十月になれば *How I Long for October*

ズエンの恋人が戦場に行くことになり、二人は結婚。まもなくズエンに夫の戦死の知らせが届く。義父は息子の帰りを心待ちにしており、夫の戦死を伝えられないズエンは、小学校のカーン先生に頼んで、夫からの手紙を書いてもらうのだった。3人の登場人物による心優しい情緒豊かな作品。ダン・ニャット・ミン監督の代表作の1本。本作の題名には今は苦しくてもいつかきっと実りの時が来るとい意味が込められている。



監督: ダン・ニャット・ミン
出演: レ・ヴァン
グエン・フー・ムイ
1984年/35ミリ/モノクロ/85分
ベトナム/日本語字幕付き

12(木) 14:00 / 18(水) 11:00

海に抱かれて *In the Navel of the Sea*

ローサは島で唯一の助産婦で息子のペビートと暮らしていた。物語はペビートが母親の仕事継ぐまでを描いているが、映画は島に住む大勢の人々の群像劇である。妻子ある男性と不倫をして子どもを身ごもるローサ。ペビートは都会からやってきた若い先生に憧れる。島では呪いや呪術が信じられており、信仰のため自らを犠にする行為などが当たり前のように出てくる。まるで神話の世界の物語のようである。

本作の脚本はパラカ文学賞の脚本部門でグランプリを獲得した。脚本のジュン・ラナは現在フィリピン映画界を代表する映画人の一人だが、当時はまだ20歳だった。1950年代のフィリピン。伝統や信仰と西洋文化が混在していた時代をファンタジックに描いたアバヤ監督の傑作である。



監督: マリルー・ディアス=アバヤ
出演: ジョマリ・イラーナ エリザベス・オロベサ
1998年/35ミリ/カラー/113分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

18(水) 14:00 / 24(火) 14:00

ビザさえあれば *La Visa Loca*

ジェスはホテルのタクシー運転手。彼の夢はアメリカで働くことだが、いつもビザ申請を却下されていた。ある日彼はアメリカ人のテレビ番組制作者ナイジェルと知り合う。ナイジェルのついでにアメリカ行きを考えるジェスは番組制作に協力する。コミカルな内容の物語だが、その中に何故フィリピン人は海外に出て行くのかというテーマが浮かび上がる。心温まるコメディ映画の秀作。



監督: マーク・メイリー
出演: ロビン・パディリア
ルファ・マエ
2005年/35ミリ/カラー/107分
フィリピン/日本語・英語字幕付き

19(木) 14:00 / 24(火) 11:00

どん底 *Slingshot*

マニラのスラム街。犯罪撲滅運動で警察の手入れがあり大勢の男たちが逮捕される。しかし翌日には市議の力により、みんな釈放される。輪タクの運転手のカイロ、麻薬常習者であるカイロの友人のレックス、強盗を行うエルモたち3人組などスラムで暮らす人々の群像劇である。みな犯罪をしなければ生きていけない人々だが、彼らの虚々実々のやりとりが、まるでドキュメンタリーのように進行していく。現代フィリピン映画の巨匠ブリランテ・メンドーサ監督作品。



監督: ブリランテ・メンドーサ
出演: ジロー・マニオ
ジャクリン・ホセ
2007年/デジタル/カラー/86分
フィリピン/日本語・英語字幕付き

19(木) 11:00 / 22(日) 11:00

果てしなき鎖 *Shackled*

マニラの貧民街に暮らすジェスは、グレイスのスマートフォンを盗む。グレイスは警察に助けを求め、雑踏の中でジェスを発見する。ジェスは警察に捕まり、暴力的に問い詰められる。一方早くスマートフォンを取り返そうとするグレイスだが、様々な手続きを踏まねばならない。フィリピン社会の驚くべき一面を描いた作品。牢獄や警察などすべて実際の建物で撮影しており、リアリティーがあふれる。



監督: ローレンス・ファハルド
出演: ニコ・アントニオ
アート・アクーニャ
2012年/デジタル/カラー/92分
フィリピン/日本語・英語字幕付き

20(金) 14:00 / 22(日) 14:00

インビジブル *Invisible*

日本で暮らす初老のベンジーは昼は工場働き、夜はバーで働いて故郷に送金する。日本人の男と結婚したリンダは、アパートにフィリピン人を住まわせて助けていた。不法就労のフィリピン人たちの問題を描いた作品。福岡や北海道の夕張などで撮影されているのも特徴。題名のインビジブルとはそこに暮らしているのに、存在していないかのように見えない人々の事を言ったもの。



監督: ローレンス・ファハルド
出演: アレン・ディソン
セス・ケサダ
2015年/デジタル/カラー/134分
フィリピン/日本/日本語・英語字幕付き

5(木) 14:00 / 7(土) 14:00

グアバの季節 *Guava House*

ホアは13歳の時、家の庭のグアバの木から落ちて頭を打ち、知的発育が止まってしまう。それから30年、ホアはアパートで暮らし妹のトゥイが面倒を見ていたが、しばしばグアバの木が生えた昔の家を見に行くのだった。ダン・ニャット・ミン監督の小説「昔の家」の映画化。失ってしまった古き良きベトナムの姿がホアと共に哀惜を持って描かれる。ダン・ニャット・ミン監督らしい秀作。



監督: ダン・ニャット・ミン
出演: ブイ・バイ・ピン
ラン・フォン
2000年/35ミリ/カラー/103分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

5(木) 11:00 / 8(日) 11:00

パオの物語 *Story of Pao*

ベトナム北部の山岳地帯。少数民族の娘パオの母親キアは育ての親で、本当の母親はシムという女性だった。それでもパオはキアを本当の母親と考えていた。ところがある日パオは、市場でキアが別の男性と会っているところを見ってしまう。少数民族モン族の實在の少女の物語を元にした映画。撮影もモン族の村で行われており、山岳の美しい風景も見物。監督はトラン・アン・ユン監督の「青いパイヤの香り」に出演していた俳優で、本作で監督デビューを果たした。



監督: ゴー・クアン・ハーイ
出演: ドー・ハーイ・イエン
ニュー・クイン
2006年/35ミリ/カラー/103分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

6(金) 14:00 / 8(日) 14:00

アオザイ *The White Silk Dress*

フランス植民地時代のベトナム。役人の召使いグーは、ザンと愛し合い結婚する。やがて南北ベトナムが誕生。二人は川の畔に住み、しじみを取って生活する。ザンは4人の女の子を出産する。子どもを学校に通わせるのだが、貧しいため学校に着ていくアオザイが準備できないのだった。ベトナム文化のアイデンティティーともいえるアオザイが、様々な場面で重要なものとして登場する作品。アジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞を受賞した感動作。



監督: リュー・フィン・リュウ
出演: グォック・カイン
チューン・ゴック・アイン
2006年/35ミリ/カラー/143分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

	2月・3火	休館日	
ベトナム映画特集	4水	11:00 十月になれば	14:00 無人の野
	5木	11:00 パオの物語	14:00 グアバの季節
	6金	11:00 十月になれば	14:00 アオザイ
	7土	11:00 無人の野	14:00 グアバの季節
	8日	11:00 パオの物語	14:00 アオザイ
	9月	休館日	
	10火	休映日	
	フィリピン映画特集	11水	11:00 廃墟からの旅立ち
12木		11:00 少女ルーペ	14:00 海に抱かれて
13金		11:00 母と子	14:00 廃墟からの旅立ち
14土		11:00 神のいない三年間	14:00 少女ルーペ
15日		11:00 母と子	14:00 マグニフィコ
16月		休館日	
17火		休映日	
18水		11:00 海に抱かれて	14:00 ビザさえあれば
19木		11:00 果てしなき鎖	14:00 どん底
20金		11:00 マグニフィコ	14:00 インビジブル
21土	ウシサマと御万歳—映像でみる福岡市の年末年始— 主催：福岡市文化財活性化実行委員会		
フィリピン映画特集	22日	11:00 果てしなき鎖	14:00 インビジブル
	23月	休館日	
	24火	11:00 どん底	14:00 ビザさえあれば
	25水▶27金	休映日	
28土 1/4土	年末年始の休館日		

令和元年度福岡市文学館企画展

草紅葉—久保猪之吉とより江

会期／11月8日(金)～12月15日(日)

会場／福岡市総合図書館1階ギャラリー

久保猪之吉・より江の生涯を追いながら短歌・俳句・小品をご紹介します。

また、講演会等の関連イベントもご紹介します。

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1

展示時間／10:00～19:00(日曜・祝日は18:00まで)

休館日／月曜日、12月3日(火)

お問い合わせ／総合図書館文学・文書課 Tel.092-852-0606

ウシサマと御万歳—映像でみる福岡市の年末年始—

市内の年末年始の行事を記録した映像2本を上映。

専門家によるレクチャーも併せて開催。

日時 12月21日(土)

13時30分開場／14時開演(16時終了予定)

■入場無料。当日先着順。

※未就学児入場可。必ず保護者同伴のこと。

主催：福岡市文化財活性化実行委員会

お問い合わせ／福岡市経済観光文化局文化財活用部文化財活用課

Tel.092-711-4862

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間 令和2年6月～令和2年11月

※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間／令和元年11月24日(日)～令和元年12月6日(金)※休館日を除く

抽選日／令和元年12月14日(土)午前11時より

抽選会場／福岡市総合図書館3階 第6研究室

利用申込書／福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出ください。

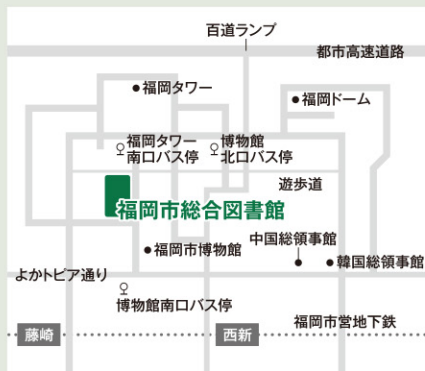
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com> 



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。